

# 事務局だより

(青森市町会連合会)

51.1.30  
161

## 新しい町会が誕生しました

(町会名) (町会長名) (代表) (地区)  
 みよしの町会 工友忠雄 48 一九  
 佃ヤ一 岩谷貞作 380 二三  
 佃ヤ二 木村五郎 180  
 佃ヤ三 松本盛二 230  
 佃北 岡本均 340

佃町会がはくばり佃関係の四つの町会が新しく集れたもので、これで町会の数は全部で二九八町会になりました。

## 東北電力との懇談会

昨年九月十七日、東北電力青森営業所幹部と本会執行部との話し合いがあった。内容は、  
 街灯の電柱移転の経費は従来すべて町会の負担であったが、今後は、器具は町会、負担工事費は会社側の負担となり、今迄の陳情効果も幾分あらわれ町会側にも有利となった。

電気に関する講座を町会で企画して、講師、会場費は会社側で負担する。臨時会の設置は危険を伴うから必ず、会社へ正規に届けてほしい。  
 ワードス句問(五月十月)の二回、移動(ト)とご利用ください。詳細は東北電カカビス課へ。  
 高圧線とタコあけの危険について(チラシ配布済)

## 好評身三収集場所の看板

美しいデザインと新製品ビッパの特質を生かした看板は、無償配布のためもあり、希望申込み二五の枚ありました。原価で百円、の資金は篤志家の奔走で市内青年センター、六社、一好意で賙りすることになりました。

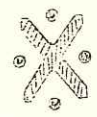
スポンサーに手間どり、おそく付いたことをおわびします。雪が消えて、ウチ夫は裏うちの板を使用して長持ちするよう、くふうしてください。  
 一部を切りとったり、あまり書きこみ、足りして、折角の、デザインをこわさぬよう、お願いいたします。

## 街灯料金補助金と小切手

街灯料金補助金は年一回(5月か6月)にわけ、交付になり、年額二五三三八七円、毎回約五百三万円ずつ交付になります。従前は現金で各町会へ渡して、おりましたが、定められた期日にくる方が少く、二月、三月中には二年近くも受取らない町会もあり、その間、毎日何百万の現金入りカバンを持ち歩き、事務室を空にして、外出して、キカわる状態です。ので、本年度から全部小切手にしまして、事情に諒察の上、ご協力願います。

## 街灯の実態調査報告書について

現在の街灯料金補助金は、電柱一本を二灯とみて、白熱灯四つ、一灯分の料金、年額一四九七円(金額)になります。この基準は実態からみて、白熱灯セント満足する(そのものか、どうか)という、問題点があると思えます。今後どの程度の基準が好ましいものが、それには正確な現状の実態を把握することが必要になってきます。各町会からの報告と集計し、分析してみ、新しい資料をつくりたいと思えます。未提出の町会は早くご提出くださるようお願いいたします。



お亡くなりになった方(昭和五十年度)

青神一丁目町会長 故中村民一氏 (50.9.28)  
 八役町会長 故八木沢定市氏 (50.12.26)

つつしんで故人のご冥福を祈ります。  
 当連合会より規定により弔詞花輪  
 香典をよ贈りしました。